

別紙様式 1

新築等継続事案の建設実施状況報告表

(省庁名) \_\_\_\_\_

部局等名	用途及び 所在地	取得 区分	予算 区分	当初 年度	全体計画			前年度までの実施内容			本年度計画			翌年度以降計画			備考
					構造 種目	数量	金額	支出 科目	金額	工事内容	支出 科目	金額	工事内容	年度	金額	工事内容	
							円		円			円			円		

作成要領

- この報告表は、行政財産とする目的で建物の新築等の工事を継続費等により2年以上にわたり実施している事案（ただし、工事が2年度以上にわたるもののうち、歳出予算の繰越しにかかるものは除く。）について作成する。
- 「取得区分」欄には、新築又は増築の別を記入する。
- 「予算区分」欄には、国庫債務負担行為、継続費又はその他（国庫債務負担行為又は継続費によらないで、単年度ごとの歳出予算により2年度以上にわたり新築等を行なう場合をいう。）の別を記入する。
- 「当初年度」欄には、当該新築等の工事に着手した年度を記入する。
- 「数量」欄には、上段に建面積を、下段に延面積をそれぞれ記入する。この場合、増築にかかるものについては、備考欄に増築前の数量を記入する。

6 「金額」欄には次の区分により、それぞれ記入する。

(1) 全体計画の「金額」欄には、国庫債務負担行為又は継続費にかかるものについては、国庫債務負担行為の限度額又は継続費の総額を、その他のものについては予算総額をそれぞれ記入する。

(2) 前年度までの実施内容の「金額」欄には、支出済額（歳出予算の繰越決定額を含む。）の累計額を記入する。

(3) 本年度計画額の「金額」欄には、当該年度の歳出予算額を記入する。

(4) 翌年度以降計画の「金額」欄には、継続費にかかるものについては、翌年度以降の年割額を、国庫債務負担行為にかかるものについては、歳出予算計上見込額を、その他のものについては、予定金額をそれぞれ年度別に記入する。

7 「工事内容」欄には、たとえば基礎工事、く体工事、内装工事等工事の内容を簡記する。この場合「前年度までの実施内容」及び「翌年度以降計画」の「工事内容」欄には、各年度別に区分して工事内容又は工事計画を記入するものとする。

8 用紙の規格は、日本産業規格A列4番とする。